

「こしょてん通信」は、就労移行支援 Kaien 大阪天六 / Kaien 阿倍野の訓練生が運営するオンライン古本屋「こしょこしょてんろく」の情報紙です。様々な特性の人が集まり、チームワークで自信をつけていく、そんな店舗の姿をお届けします。

## MONTHLY PICKUP

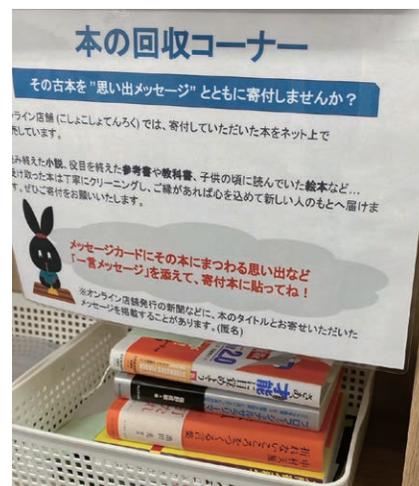
### 阿倍野「本の回収コーナー」の設置

現在阿倍野では古書の回収を実施しています。すでにご卒業された訓練生の提案でまだ始まったばかりの企画です！読まなくなった本に一言メッセージを添えて寄贈してもらっています。寄贈された古書はクリーニングして出品されます。もし、ご協力していただきましたら、オンライン店舗メンバーの活力にもなります。

すでにスタッフ・講師の方々から、小説、自己啓発書、エッセイ、教科書、図鑑、辞書と様々な本を寄贈して頂い

ています。みなさんの自宅でも、棚でほこりがかぶっている本を探してみてください。見つかりましたら、それぞれの拠点まで持ってきていただいたうえで、オンライン店舗の者までご一報いただけるとありがたいです。

今後、寄贈していただいた本は、一冊ずつ、こしょてん通信の「Ex Libris (エクスリブリス)ーわたしの1冊ー」で紹介していきます。また、寄贈者の方のメッセージがあれば、みなさんにお伝えします。では、お楽しみに！



棚の一部に「本の回収コーナー」を設置しています。少し分かりにくいですが皆さんの古本をお待ちしております。



Zoomで、週1回45分話します。グーグルの資料にそれぞれ意見を書きます。(イメージ図)

### 大口出品導入についての議論始まる

8月22日、現在のamazonでの出品方法を小口出品から大口出品にする事について是非が問われました。

小口出品は1品売却する毎に手数料を取られますが、大口出品にすると下記のメリットが見込めます。

- ・月1回の登録料を支払うだけでよい。
- ・店舗運営に役立つ特典を利用できる。
- ・当店舗の出品物の検索ができるようになり、よりリピーターが付きやすくなる。

ただ、現段階では大口出品した際の

懸念点がいくつか指摘されています。

- ・月に売れている冊数が少ない為、登録料を払う方が負担が大きくなる。
- ・現在の郵パックを郵送に使っていた際の基準で値段設定をしている為、多くの出品物が赤字になる。
- ・注文が増えた際に現在のメンバーの人数で対応できなくなる。

これらの懸念点の解決の為、現在は、大口出品を導入している他の事業所の運営を研究しています。議論はまだまだ続きそうです。

## 今月のおすすめ

### 謎解きはディナーのあとで

東川篤哉 著 小学館

2011年に北川景子と櫻井翔を主演に放映されたテレビドラマの原作。その第1作がこの本です。

世界的企業グループのお嬢様だが刑事をしている宝生麗子が遭遇した不可解な事件を、有能だが毒舌な執事影山が、麗子の話す情報から真相を明らかにしていきます。

推理小説は扱う題材の都合上シリアスになりがちですが、この作品では登場人物のボケとツッコミの応酬がそんな重々しさを軽減しています。そんな掛け合いの中に謎を解くヒントが隠されている巧妙さもこの作品の魅力の一つでしょう。

推理小説を読みたいけど、雰囲気苦手という方におススメです。



東川篤哉

1968年、広島生まれ。

いくつかの作品がテレビドラマ化されている。

419円(こしょこしょてんろく価格)

## こしょこしょてんろく

オンライン店舗を陰で支えて下さる方にコラムを寄稿して頂きました。テーマは「店舗の最初の頃」です。

店舗は大阪天六開所の3か月後にオープンしました。準備は大忙しだったと記憶しています。他拠点からマニュアルと在庫本寄贈を受ける交渉から始まり、店名「こしょこしょてんろく」を決め、備品購入、本のクリーニング、書籍登録、等々、怒涛の準備期間でした。8月30日で、店舗開設から5年です。懐かしいですね。

(講師 吉本さん)

店舗5年の歴史の中で、のべ100名近い訓練生がこの業務に携わり、人と関わりながら作業を進める経験を積んでその後の就活や就労に活かされています。一時は後継不足で存続の危機にも直面しましたが、今は阿倍野にも広がり、多くの方がより良い運営に向け試行錯誤されている姿を見て、続けてきてよかったと思っています。

(スタッフ 長谷川さん)

## 退勤のスペシャリスト

オンライン店舗の中の人、  
仕事終わりに自由につづやきます

秋といえば読書の秋。というわけで今回は、訓練が終わってから私がよく通う本屋の紹介をしよう。その本屋は、梅田ロフトの隣にある、MARUZEN&

ジュンク堂梅田店。日本最大級の売り場面積6,800㎡を誇るこの巨大書店には、約200万冊の本が置かれている。

その中でも、私がよく訪れるのは、交通関連のコーナー。ここには、鉄道だけでも約200冊近くの関連書籍が並んでいるので、どの本も鉄道好きには興味深い内容が多くて、つい長居してしまうほどだ。

鉄道関連に限らず、あらゆるジャン

ルの本も置かれているので、欲しい本はほとんど手に入る。阪急大阪梅田から徒歩6分とアクセスもいいので、気軽に立ち寄れるのも魅力だ。



国内最大級の書店  
MARUZEN&ジュンク堂梅田店

こしょこしょてんろく

## 古本の寄贈をお願いします!

児童書から実用書まで幅広いジャンルの本を募集しています。ご不要になった本をダンボールに詰めて下記住所までお送りください!

(株) Kaizen 大阪天六事業所「こしょこしょてんろく」担当  
〒531-0074 大阪府大阪市北区本庄 1-1-10 RISE88 ビル 503号



ブログはこちら



インタビュー掲載中

タイトル: こしょてん通信  
発行所: (株) kaizen 大阪天六  
発行日: 2023年9月18日